

新型コロナウイルスによる臨時休校

2月27日に安倍首相が臨時休校を要請する考えを表明されたことを受け、まず宇城市の小中学校は、3月3日(火)～3月15日(日)まで臨時休校にすることとなりました。突然の休校で、保護者の皆様には家庭での生活についてご心配をおかけすることになり、たいへん申し訳なく思っているところであります。ただ、保護者の方々にご協力をいただき、今のところ子どもたちも無事に過ごすことができしております。感謝申し上げます。しかしながら、3月9日の政府の専門家会議では「依然として警戒を緩めることはできないとして、自粛など感染予防対策を19日頃までは必要」という見解、熊本県教育委員会の意向を受けて3月25日まで休校の延長が決められました。ただし、3月16日、19日、23日、27日を登校日にすることになりました。24日には、宇城市の小学校全校、卒業生、保護者、教職員で卒業式を実施します。残念ながら、来賓、在校生の出席はかないませんでした。心から卒業生の門出をお祝いしようと準備をしているところです。



【誰もいない運動場】

1日も早い新型コロナウイルスの終息を願うばかりです。

熊本県学力調査(ゆうチャレンジ)の結果

確かな学力の定着を図るための指導方法の工夫改善に役立てることを目的に、毎年、実施している学力調査です。3年生以上、国語、算数、質問紙調査を11月に実施しました。国語、算数については、全国平均と比較して、良かった学年とそうでない学年に差がありました。ただ、全体的に、国語では、物語の内容を読み取ることなどの「読む力」が良く、作文を書くことなどの「書く力」に課題がありました。算数では、算数への「関心・意欲・態度」が良く、「数量を求める方法を考えること」などの「考え方」に課題が見受けられました。各学年で結果を分析し、補充プリントを使い、子どもたちに定着を図っているところです。3月1日に個人の結果を配付しておりますので、家庭でも見届けをしていただくと幸いです。

また、質問紙調査もありましたので、一部結果を下記に示しておきます。

特に、本年度、地域であいさつができるように子どもたちとも頑張ってきたところですが、その成果が見えたのでお知らせをいたします。また、他の質問紙で気になる項目がありましたので、お知らせしますが、朝食に関しては、全国よりもいい結果ではありますが、全員というわけではありませんので、習慣化が大切だと感じております。今一度、家庭で確認をお願いします。

		近所の人に挨拶	夢や目標がある	朝食を毎日食べる
小3	本校	96.0% ↑	88.0% ↓	88.0% ↓
	全国	80.6%	88.3%	90.9%
小4	本校	100.0% ↑	84.2% ↓	94.7% ↑
	全国	81.6%	87.9%	91.5%
小5	本校	93.3% ↑	73.3% ↓	93.3% ↑
	全国	80.6%	87.9%	90.8%
小6	本校	88.2% ↑	82.4% ↓	94.1% ↑
	全国	80.3%	85.9%	90.8%

春休みの暮らしについて

本校では、「家庭でゲーム・スマホ等の使用ルールがありません。」と答えた子どもが、昨年度は約15%でしたが、本年度は約26%とかなり増加しています。昨今、SNS等で知り合った人とトラブルになったり、犯罪に巻き込まれたりする事案が増加しています。

どうぞ再度、保護者の責任のもと、子どもたちと使い方について家庭のルール作りをお願いします。

小川工業高等学校より

「移動式ラック」の寄贈

2月25日に、小川工業高等学校より、ものづくり地域支援プロジェクトの一環で本校に「移動式のラック(棚)」を寄贈していただきました。小川工業高等学校は、ものづくりを通じた地域貢献を掲げており、以前から手作りのリヤカーなどをいただき活用させていただいていました。本年度は、2・3年生の教室に個人ロッカーが足りなくて、「ぜひ、個人の習字道具などを整理できる棚を」とお願いしたところ、見事なラックをいただきました。子どもたちからは「これで、すっきり整理できる」と喜びと感謝の言葉を伝えたところです。本当に、ありがとうございました。



児童会役員選挙・任命式

2月28日、児童会役員の任命証書を渡しました。たった1枚の紙ですが、とても重たい「責任」が含まれています。立ち会い演説会で「こんな学校にしたい」「そのために、こんなことをしていきたい」とみんなに伝えてくれました。これからは、児童会役員選挙に立候補した全員の思いを、胸に秘めて、新役員の人々が一致団結して、6年生が築いてきてくれた、この小川小学校をさらに、いい学校へと導いて欲しいと思います。今からが、スタートです。よろしくをお願いします。ただ、役員の人だけが頑張っても、どうにもなりません。新役員の人に「任せた」ではなく、「いっしょに頑張る、チーム小川」という思いをもって、6年生が安心して卒業できるよう、みんなで小川小を盛り上げましょう。5人の新役員のみなさん、1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

新入生体験入学 2月18日

校長からは、『生きる火種』というお話をさせていただきました。子どもたちは幼少期に保護者をはじめ周りの人たちから大切にされているという経験、例えば、幼い頃にギュッと抱きしめられたり、「大丈夫」と声を掛けられたり、ほんの些細なことの積み重ねが火種になって、思春期も、成人してからも困難を跳ね返し生きていけるという話です。新入生ばかりでなく在校生のご家庭でも、今のお話を参考にいただければ有り難く思います。

ちなみに、現在の状況では新1年生は26人の予定です。

